

市報

大丸や

11.8.15
No.1275



大分市と中国武漢市が、昭和54年9月に友好都市を締結して今年で20周年を迎えます。

これを記念して、10月に武漢市から「友好代表团」をお迎えし記念式典を行うとともに、「中国武漢芸術団」による記念公演も行われます。そこで今回は、武漢市との最近の交流状況の紹介と武漢芸術団「記念公演」の見どころを紹介します。

これまでのあゆみ

◎大分市友好訪団武漢市訪問
平成9年10月、武漢市人民政府において、木下大分市長と王武漢市長との間で、今後の交流方針、平成10年度の交流事項に



ついて協議し、合意書に調印しました。以降毎年、次年度の交流事項について協議することも確認しました。



◎スポーツ交流

平成10年8月大分市陸上競技場にて、大分トリニティ・ユニアードと武漢市ジュニアとの親善試合が行われました。



試合前の鐘強さんと文青さん

◎福祉交流

毎年大分国際車いすマラソン大会に、武漢市から代表選手が参加し、平成10年は、鐘強さん（男性）、文青さん（女性）が、ハーフマラソンに参加しました。



武漢市水ゼリ栽培状況

◎武漢市大水害に対する支援

平成10年7月から8月にかけての長雨により、武漢市は、大洪水に見舞われました。このため、市民からの義援金408万3,004円とダンボール60箱分の医薬品、医療器具を送りました。

◎農業交流
平成11年1月、市園芸畜産課職員とJA大分市職員が、武漢市農業科学技術研究院を訪問し、種子の収穫技術指導を行いました。



水害に遭った工場

「武漢芸術団大公演」観賞券発売中

世界でもトップレベルの武漢の雑技と歌舞の名手の技が格安でご覧いただけます。お買い求めはお早目に。

▶公演日程・場所

月 日	開演時間など	場 所
10月 7日(木)	午後6時(一般観賞)	グランシアタ (オアシスひろば21)
10月 8日(金)	午後2時(一般観賞) 午後6時(親子観賞)	大分文化会館
10月12日(火)	午後2時(一般観賞) 午後6時(一般観賞)	

▶一般観賞（グランシアタ）
指定席…S 4,000円、A 3,000円、B 2,000円

▶親子観賞（グランシアタ）

全席自由席
親子券…3,000円（親1人、子供1人が入場できます。子供が増える場合は、1人につき1,500円の子供券を購入してください。子供は小・中学生とします。）

▶一般観賞（大分文化会館）

指定席…S 4,000円、A 3,000円
自由席… 2,000円

▶観賞券の発売場所

- チケットぴあ（トキハ会館／ミュージックE TO／別府トキハ／中津サティ／ファミリーマート各店）
- ローソンチケット（ダイエー各店／リズムレコード／ローソン各店）

▶問合せ先 文化国際課（☎534-6111 内線1071～1074）へ。

大分・武漢友好交流20周年 ～広がる 友好の輪～

武漢歌舞劇院



趙鋼さんと楽器演奏者の皆さん

☆大分・武漢友好都市20周年記念式典を、10月7日(木)に開催予定です。詳しくは、10月1日号の市報でお知らせします。

54年歴史をもつ大型総合芸術団体です。

54年の歴史をもつ大型総合芸術団体です。今回は、楽器、声楽、舞踊の各部門から第一人者を選び、特に男性テノール、琵琶、管子（ひちりき）、笛の演奏者は、「国家一級演奏員」です。一流の音楽や舞踊を堪能してみてはいかがですか。



◆单手頂



◆鉛 圈



◆双人柔術頂碗

前回の10周年記念公演よりさらに力強さと美しさを増しています。

技量、人材とも中国随一の大型雑技団として、世界中に知られています。

日常の生活用具を使い、鍛え抜かれた力と絶妙なバランスによるアクロバットの演技は、見る人すべてに驚きと感銘をあたえてくれます。

武漢芸術団記念公演

（武漢雑技団と武漢歌舞劇院で編成）



子どもの声から

- ・お母さんが留守の夜、夕食を作りながらお父さんが言ったよ。
「お母さんはいつもこんな大変なことをしてるんだ」って。
- ・「お父さん、機嫌が悪いの」「お父さん、何かあったの」わたしが困っていたとき、いつもお父さんは、「大丈夫か」と声を掛けてくれていたから。



**心の居場所は
温かい家庭から**

子どもたちの「心の居場所」となる温かい家庭を築くための、主なポイントを示しましたので、親子でチェックしてみてください。

1. 家族みんなで大笑いするときがありますか。…………… はい・いいえ
 2. 家族がそれぞれの役割をもって助け合っていますか。…………… はい・いいえ
 3. 「ありがとう」や「疲れたね」などの言葉をよく掛け合っていますか。… はい・いいえ
 4. 「おはよう」などのあいさつを交わしていますか。…………… はい・いいえ
 5. 苦しいことも楽しいことも家族で力を合わせて頑張っていますか。… はい・いいえ
 6. お互いに精神的に結び付いていますか。…………… はい・いいえ
 7. 子どものユーモアに付き合っていますか。…………… はい・いいえ
 8. 他人に思いやりをもって接していますか。…………… はい・いいえ
 9. 自然体験をすることを心掛けていますか。…………… はい・いいえ
 10. 共に汗を流す機会を設けていますか。…………… はい・いいえ
 11. 子どもの話を最後までよく聞くようにしていますか。…………… はい・いいえ
 12. 親として「許せないこと」は、断固許さないようにしていますか。…… はい・いいえ
- * 8項目以上「はい」があるといいですね。「いいえ」が多くても、これから家族で努力していくれば子どもは健やかに成長していきます。

現在の少年非行の要因の一つに家庭での教育力の低下が挙げられ、子どもたちにとって家庭が「心の居場所」となっていないのでは、といわれています。今一度、心の居場所としての家族の在り方について考えてみましょう。

▶問合せ先 青少年センター（☎533-8155、相談電話 ☎533-7744）へ。

敬老行事 に参加しませんか



今年は国際高齢者年。また、9月15日から21までの7日間は、敬老の日・老人保健福祉週間です。この期間を含め9月中に70歳以上の人を対象とした、敬老の日大会や各種のサービスを行います。

ぜひ、気軽にお出掛けください。

バスの無料乗車

（9月1日（水）～30日（木）の間）

敬老の日施設優待券に付いている「バス無料乗車券」（1人4枚）で、大分・別府市内に限り路線バスに無料乗車できます。

公衆浴場などの無料・割引入浴

（9月15日（水）～21日（火）の間）

敬老の日施設優待券に付いている「無料・割引入浴券」（1人2枚）で、市内の指定する浴場に無料・割引入浴できます。

☆詳しくは、8月31日（火）までに自治委員を通じて配布する「敬老の日施設優待券」をご覧ください。

あんまの無料サービス

▶日 時 9月14日（火）午前9時～11時
(受付…午前8時30分～11時)

▶場 所 県立盲学校（金池町三丁目）

▶対象者 65歳以上の市民

▶定 員 60人

▶内 容 県立盲学校の生徒によるあんまの無料サービス

▶その他の 「治療券」が必要です。希望する人は、9月1日（水）から高齢者福祉課（50枚）・県立盲学校（10枚）で先着順に配布します。

長寿者への敬老祝福訪問

市内の男女各最高齢者などを祝福訪問します。

敬老祝品贈呈

95歳以上の高齢者をはじめ、77歳を迎えた人に祝品を贈呈します。

※祝品が9月15日（水）までに届かなかった場合は、高齢者福祉課までご連絡ください。

各施設の無料、割引サービス

理・美容院（組合加盟店のみ）、マリーンパレス、高崎山自然動物園などの各施設で入場料などの無料・割引サービスを行います。

▶問合せ先 高齢者福祉課（☎534-6111 内線1434）へ。★なお、対象者の年齢は11年9月15日現在です。

ごみステーションへの正しい出し方

★ごみはすべて透明・半透明(無色)のごみ袋で

ごみは、中身の見える透明または無色の半透明の袋に入れて出してください。ダンボールや紙袋、黒・青などの色付き袋で出されたごみ、および裸ごみは収集しません。



●特に生ごみは、水分をよく切って出してください。



●買いすぎ、作り過ぎには十分注意しましょう。



★ごみの出し方3原則

①決められた日時に

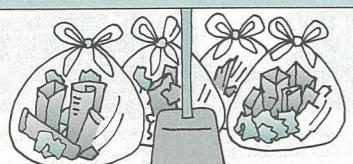
収集日当日の朝8時30分までに。前の晩など早出しはしないでください。

②決められた場所へ

他の町内のステーションへ持ち込まないでください。

③分別して出す

『燃やせるごみ』『燃やせないごみ』『資源物』の分別の徹底にご協力ください。



▶問合せ先 清掃業務課 (☎568-5763)、清掃管理課 (☎537-5624) へ。

8月は差別をなくす運動月間です

これは、昨年度、市内の明治明野公民館で開催された「同和教育専門講座」（5回連続）に参加した岡本良一さんとの感想です。
市内の地区公民館（明治明野公民館・南大分公民館・植田公民館）では、10月から同和教育についての専門講座を開催しています。

【子どもたちのメッセージを受けて】

あなたのごみは透明・半透明(無色)の袋に入っていますか

市では、現在、透明または無色の半透明のごみ袋に入れて、「燃やせるごみ」「資源物（缶・びん・ペットボトル）」をごみステーションへ持ち出すよう市のお皆さんにお願いしていますが、まだ、ルールが守られていないステーションが見受けられます。ごみの多い時期、今一度、ごみの正しい出し方について考えてみましょう。

専門講座に
参加して



グルメ大分全国に発信!

~「美味しんぼ 日本全県味巡り 大分編」発刊を契機に~



平成11年6月30日発行「美味しんぼ」71集
◎雁屋哲/花咲アキラ/小学館「ビッグコミックスピリット」

「美味しんぼ 日本全県味巡り 大分編」

週刊コミック誌に連載中の「美味しんぼ」

で、大分が日本全県味巡りの第1弾として昨年末、6週にわたり掲載され、今年6月に改めて単行本として、100万部発刊されました。

吉野鶏めし、やせうまのほか、たらおさ、黄飯、ハモ料理など、県下各地の特色ある郷土料理が盛りだくさん紹介されています。

市では、平成5年を「観光元年」と位置付けて、観光の新しい魅力づくりに取り組んでいます。「食」についても、「ふぐ名店会」の設立や、各種イベントでの「だんご汁無料接待」、「府内南蛮鍋・府内南蛮牛飯の開発」など、さまざまな取り組みを行っています。2002年ワールドカップサッカーの開催準備も順調に進む中、今回の「美味しんぼ」発刊を契機に、広域観光の拠点として、観光で連携する市町村や団体などと一緒に売ります。「グルメ大分」を全国に売り出していく

恵まれた自然、豊富な海の幸・山の幸、大分ならではの郷土料理……これは、まさに「豊の都市おおいた」が、自信を持って全国に発信できるものです。

売り出そう！グルメ大分

ハンギングバスケット部門とコンテナ部門コンクール開催！
市では、ふるさとづくり運動の重点事業の一つとして、「花いっぱい運動」を展開しています。

美しい「ふるさとおおいのまちづくり運動を普及啓発するため、皆さん自慢のガーデニング作品を一堂に展示し、ハンギングバスケット部門とコンテナ部門のガーデニングコンクールを行います。

ぜひ、あなたの力作を出展せんか。

「美味しんぼ」登場 竹田の「頭料理」特別実演会

参加者募集！

◆日 時	9月5日(日)	午前10時～正午
◆場 所	コンパルホール	
◆対 象	料理に興味のある人、店を出している人・出そ	うとしている人(プロ歓迎)
◆人 数	25人(応募者多数の場合抽せん)	
◆申込方法	往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入のうえ、8月25日(火)までに観光課(〒870-8504 荷揚町2番31号 ☎534-6111 内線1632)へ。	

◆会 場	内会場 (10月8日(金)直接会場へ搬入)	外会場 (10月8日(金)直接会場へ搬入)
◆応募内容	ハンギングバ	スケット部門、コンテナ部
◆対象者	(多数の場合抽せん)	門のいずれかに1人1点。
◆申込受付	8月16日(月)(必着)	ト部門は応募数100点
◆その他の	アマチュア	作品の内容・容器の規格は
	ガーデニング	自由。ハンギングバスケ

◆申込方法	生涯学習課、各地区公民館に備え付けの申込用紙に記入のうえ、応募者のガーデニングの全景写真(審査の参考用、1年以内に撮影したもので2Lサイズ、ラミネートコートしたもの)などを添付し、生涯学習課(〒870-18504 荷揚町2番31号 ☎534-6111 内線2041)へ。
-------	---





大在北
牧 大河ちゃん

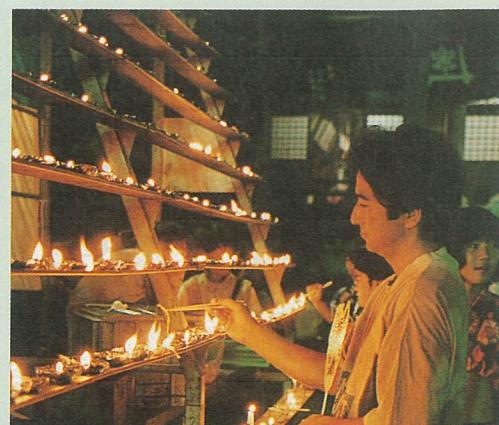


乙津港町
加藤 混ちゃん



羽田
松尾 将吾ちゃん

わが家のフォトライブラリー



鶴崎は祭り一色
7月23日 法心寺・鶴崎サンバカーニバル
鶴崎



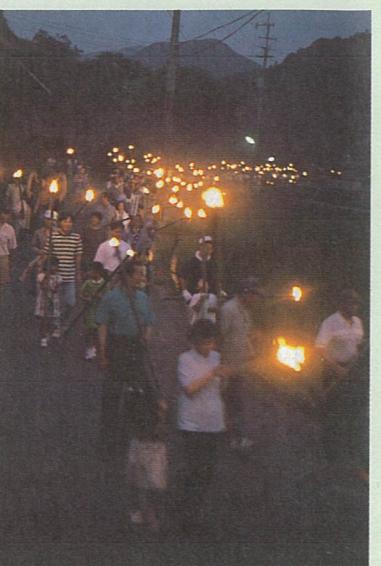
豊作を願って
~虫追い祭り~
7月18日 佐野



万燈籠を囲んで
~九六位山キャンプの夕べ~
7月17日 九六位山キャンプ場



手作りの楽しみを実感
~生活に生きる版画講座~
7月21日~23日 チャイルドハウス



疲れたけれど、自然を満喫
~第19回手作りイカダ大野川河下り大会~
7月25日 大野川

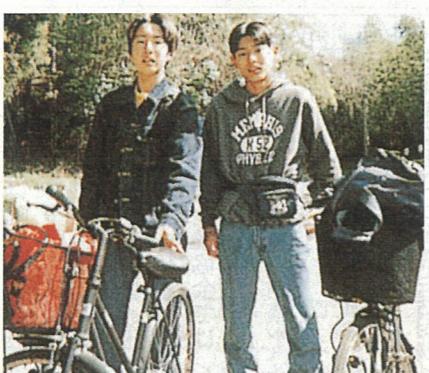


夏はプールだ!
8月30日まで
7月20日 大在プールリフレッシュオープン



お誕生日おめでとう
~百歳祝福訪問~
今村 ノブさん(清静園)

まちづくり活性化協力賞⑨



板井さん 柳井さん

活力ある粹なまちづくりに貢献された個人や団体に贈られた「まちづくり活性化協力賞」。

今回は、「ひとの部」で受賞した板井京介さんと柳井俊満さんにお話を伺いました。

平成9年の3月、中学校の卒業記念に、二人の一生の思い出として、自転車に乗つて中九州を完走しました。

『大分→竹田→熊本→久留米→博多→北九州→中津→大分』ルートで、6日間の旅。出発して1日目は風景を見る余裕もあり、楽しく走ることができましたが、2日目以降は天気や坂道に苦しみ、さらには道に迷つてしまい、疲労と、地図と現実とのギャップに悩まされました。途中で中止して大分へ引き返そうと思いましたが、ここであきらめたら後悔すると思い、一人で励まし合いながらペダルをこぎ続け、約500キロの長い距離を完走しました。最後の日、日出町に着いた時ぐらいから、『大分へ帰ってきたんだ』という安心感と満足感が入り交じり、大分でまた二人の『新しい思い出』をつくりました。この旅を通して、"親友"といううすばらしい存在を改めて感じました。今は、自分たちで考えたことが実現できた『二人の思い出』を胸に抱き、高校生活を送っています。また二人の『新しい思い出』をつけたいと思っています。

自動車で、いろんなところに行きたいと思っています。

ぼくは今、毛筆(硬筆)とピアノ、英語を習っています。毛筆(硬筆)は自分から進んで習い始めましたが、ピアノと英語はお母さんにはすすめられて始めました。習っている中で、自分にとつて大変なのが毛筆(硬筆)とピアノです。大会が近くなつてくると練習にいそがしくなり、特に、同じ月に大会が重なると、それぞれの練習が十分できずに苦労します。でも、一生けん命に練習したかいがあって、硬筆で目標だった県知事賞をいただき、新聞に自分の名前がのつた時は、おどろきと喜びが一緒にこみ上げてきました。これからも、練習にはげみ、がんばっていきたいと思います。



がんばっていること

植田小6年 伊東 祐樹

元気くわく

